

## 平成25年度 村上市総合部 活動報告

部長 阿部 順延

### 1 研究主題 「郷土のよさについて体験を通して問題を追及する子どもをめざして」

### 2 研究の概要

村上地区では「郷育プログラム」を各学校の指導計画に位置づけているため、総合的な学習の時間の計画も地域に根ざしたものになっている。そこで、当部会でも「郷土のよさ」に視点を絞り、研修を進めてきた。地域の中での体験活動を意図的に組織し、児童自身が新しい発見をしたり、課題を見つけたりすることが問題追及へつなげると考える。当部会では、地域の中で体験活動の重要性・留意点を話し合い、互いに情報交換することで各校での授業実践につなげることをねらいとした。

### 3 研究の実際

□ 5月 1日(水) 代表部員会 代表部員による活動計画案作成

□ 8月23日(金) 部会 イヨボヤ会館施設見学  
教育課程伝達講習会  
情報交換



#### (1) イヨボヤ会館施設見学

##### ① 鮭のミニふ化場

- ・鮭のふ化の様子は10月上旬～1月頃にかけて観察できる。
- ・その他、様々な淡水魚(鮎、ヤマメ…)を観察できる。

##### ② 青砥武平治記念コーナー

- ・武平治が打ち立てた「種川の制」ができるまでの歴史と功績をアニメーションで分かりやすく学ぶことができる。

##### ③ 三面川鮭観察自然館

- ・三面川の分流(種川)の水中の様子を直接ガラス越しに観察できる。
- ・三面川に生息する淡水魚、水中生物を観察できる。
- ・秋には遡上する鮭の群を観察できる。全長50m、幅8mの地下室から運が良ければ産卵シーンを観ることができる。



##### ④ 村上の鮭文化・料理・漁

- ・先人達が築いてきた村上の鮭言葉、百を超える鮭料理、「居繰り網漁」などの漁法、漁具を詳しく紹介している。

※ 水中の自然を直接観ながら、鮭の生態や文化を学ぶことのできる施設である。青砥武平治の業績を調べることで、村上の鮭文化・歴史を感じる事ができる。

#### (2) 新教育課程研究集会伝達講習会

平成25年7月8日(月) 県教育センター新教育課程研究集会の資料をもとに行った。

#### (3) 情報交換会

3～6年生の活動内容を中心に、地域の特色を生かした題材設定の情報交換を行った。

### 4 成果と課題

地域の題材を発掘する上で、大変参考となる施設見学であった。教師が直接体験することで、めざす子どもの姿、授業のイメージを膨らませることができた。また、各学校の地域教材について情報を交換することができた。今後も児童のめざす姿の「見通し」をもち、魅力ある総合学習を展開していきたい。